

地銀協レポート

vol. 11

2023.12.13

report1.

障がいがある方に配慮した取り組み

report2.

地方銀行に所属するスポーツ選手



誰もが利用しやすい銀行 ―― 障がいのある方に配慮した取り組み・・・・・・・・・・ 2

国内外で活躍！地方銀行のスポーツチーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

協会ニュース・・ 13

- ― 「地方創生事例集」に記事を追加しました
- ― 「ポートフォリオ運営講座」を京都ラボで開催しました
- ― 2023年度の規制改革・行政改革要望を提出しました
- ― 2024年1月、NISA制度が新しくなります

統計グラフ・・ 15

地方銀行のNISA取扱状況



Cover photo — No.002

阿波銀行 福島支店

徳島市安宅二丁目6-67



壁一面のきれいな藍色が目を引く建物は、阿波銀行の福島支店です。阿波銀行が本店を置く徳島県は、古くから“藍”の一大産地で、藍染めが伝統工芸として発展してきました。この地で、1879年に、藍の取引で名をはせた大商人・久次米 兵次郎が久次米銀行を設立しました。その関西部を承継し、1892年に藍商人が出資しあい設立した合名会社阿波銀行を前身に、1896年、株式会社阿波商業銀行が誕生。後に現在の阿波銀行となります。同行は藍商人の精神を引き継ぎ、「堅実経営」を行是としています。

このように、古くから藍とのつながりがある同行は、藍色をコーポレートカラーに採用しており、銀行のロゴマークや、女性行員が着用する制服のリボン、スカーフなど、様々な場面に取り入れています。そして、2015年、“藍色一色”の福島支店が誕生しました。外壁は、縦と横の糸を編み込んだ織物を表現した特注タイルを使用しており、同じく徳島の伝統工芸・阿波しじら織が連想されます。支店内にはギャラリーもあり、1年を通じて美術展やワークショップなどのイベントを開催しています。

